

京都教区時報

小教区の頁—田辺教会
特集—京都司教区現勢調査報告
連載—コミュニケーション年にあたって

第85号

発行所

京都市左京区に門通新高倉東入

京都カトリック教理センター

広報室(Tel761 9095)

編集責任者 村上透磨

編集部 教理センター

田中司教認可

平和を祈ろう



「また祈りですか。祈りで平和が来ると思っているのですか。」
「でもね、私達は平和が来ます様に」とあのゲッセマニのイエズス様のように、真剣に血のにじむ様な祈りをしているのでしょうか。
「本当の平和は、心からの平和です。平和を愛する心から出ます。平和は復活のことばです。平和は聖霊の恵みです」だとしたら、祈

「もう、こんな危険な状態では人間の力ではどうすることも出来ない。あとは神の力に頼るより外はないのではないか。祈るより外はないのではないか。少くとも、真剣に、祈りつ、平和のために努力しない限り、問題は解決しないでしょう」ところで、平和のために真剣に祈っていますか。
平和を破壊する戦争。その「戦争は人間のしわざです。戦争は人間の生命の破壊です。戦争は死そのものです」

祈る事は、神様に責任をなすりつける事ではないのです。人間として、愛と正義、真理と信仰に基づいてあらゆる努力をしなければなりません。でも祈りを忘れたら……。

「過去をふり返る事は、将来に責任をもつ事です」
戦争の恐ろしさを知らない人が多くなりつつあります。戦争への憧れが人々の中に巣くっています。それはもつと恐ろしい事です。恐ろしさを再確認する事、その恐ろしさを伝える事が、恐ろしさを知っている人々の責任です。日本は四、五発の水爆で滅びます。

平和旬間(8月6日・15日)が来ます。
平和への取組みは、この旬間だけでは足りません。でもこの旬間には、平和について考え、行動するよい機会となるでしょう。行事に終らず、根本的に取り組む姿勢が大切です。そのための具体的な取り組みが、現われる事を期待しています。「平和を作る人は辛い」

り求めねばならないのではないのでしょうか。
「平和を破壊する、最も根本的な心は、エゴイズムです。個人のエゴ、そしてもつとおそろしいのは集団のエゴです。ところで集団のエゴの中に、個人のエゴが美事に隠れて、自分の責任のがれをしている。これはある意味でもつとおそろしいことかもしれません。それが、あらゆる意味の平和を破壊する、最も大きな原因ではないでしょうか」

教区短信



安土セミナリオ跡ミサ

6月5日(日) 桃山教会 堅信ミサ

6月12日(日) 西院教会 堅信ミサ

6月13日(月) キ教同和問題学習会(聖公会)

6月19日(日) SSND創立一五〇年祭

ネパール派遣式

6月20日(月) 邦人司祭月例会

6月26日(日) 京都北部堅信ミサ(西舞鶴)

7月4日(日) 司祭評定例会

7月4日(月)・9日(土) 司教協総会

5月15日(日) 奈良教会 堅信ミサ

親交会 春季の集い(奈良)

平和旬間世話人会

5月16日(月) 邦人司祭月例会(奈良)

5月16日(月)・26日(木) MM総会(関西)

セミナーハウス

5月22日(日) 聖霊降臨祭 河原町教会

堅信ミサ

5月24日(火) 故藤堂師一周忌ミサ(九条)

5月29日(日) 西大和教会ミサ

修女連総会研究会

司教の足どり

3月～5月



3月	26日	ザベリオ会管区長と面談	駐日パチカン大使館(カマラ大司教と面談)
	27日(日)	枝の主日 CBS宗教トレーニング合宿慰問(北白川)	9日 東京神学院司教常任委 カマラ大司教講演会(東京カテドラル)
	28日	南信協婦人部有志懇想会(今出川女子ドミニコ) 古屋司教見舞	10日(日) カマラ大司教司式の司祭叙階式(崙基幸新司祭・河原町出身)に参加 P師と面談
	29日	(出)京都教区カリタス会理事会	11日 諸宗教委(東京) カマラ大司教講演会(河原町)
	30日	聖ヨゼフ整肢園第五棟祝別竣工式 司祭評臨時会議	12日 カマラ大司教(庭野平和賞第一号)を囲む宗教者懇談会(京都ロイヤル)
	31日	聖木曜日 聖香油祝別共同ミサ(宣教奉仕者・田中 認定式・柳本両神学生) 教区内司祭修道士と昼食会及び司牧体験分かち合い) 最後の晩さんミサ	14日 OFM代表来訪
4月	1日	聖金曜日	16日 聖母学院中高増築新校舎祝別
	2日	聖土曜日 衣笠墓参 復活徹夜祭	17日(日) 亀岡教会ミサ 同信徒一同と懇談 平和旬間世話人会に出席(河原町)
	3日(日)	復活大祝日	18日 邦人司祭月例会
	4日	母と老司教見舞(聖マルチン病院) 高松司教座聖堂 聖母被昇天修道院訪問	19日 東西霊性交渉準備委(花園大) 司祭評常任委
	6日	聖母の家(四日市) 更生施設新築祝別式	22日 教区内男女管区長会議VG代理(於御池)
	7日	T師と面談	23日 バチカン諸宗教長官ジャド大司教出迎え 名古屋司教館 熱田神宮 南山大学 同宗教文化研究所訪問
	8日	諸宗教委デスク(東京) 訪問	24日(日) ケラルド師 OFM伏見小教区司祭として着任 VG臨席
	25日	東京神学院司教常任委	25日 長官と共に伊勢神宮 学館大学 伊勢教会 三輪明神 天理教本部訪問 天理泊
			26日 教会訪問 京都司教館泊 金閣寺 竜安寺 花園大神文化研究所 妙心寺見学 裏千家今日庵見学
			27日 永平寺見学 福井教会訪問
			28日 福井米原経由で長官帰路につく
			29日 南山城近隣教会運動会(聖母グランド)
			30日 T女史帰天 古屋司教見舞
5月	1日(日)	河原町ミサ ドイツ・ミッシン代表と面談	1日(日) 河原町ミサ ドイツ・ミッシン代表と面談
	2日	司祭評定例会 財務委(補助金について)	2日 司祭評定例会 財務委(補助金について)
	5日	「右近こどもまつり」大和榛原OD代表来訪 FABC諸宗教専任秘書A師来訪面談	5日 「右近こどもまつり」大和榛原OD代表来訪 FABC諸宗教専任秘書A師来訪面談
	8日(日)	社明運動第10回大会にA師と参加(佼成会・京都国際会議場) 同レセプション(新都H)	8日(日) 社明運動第10回大会にA師と参加(佼成会・京都国際会議場) 同レセプション(新都H)
	9日	A師福岡・東京神学院その他訪問の途へ(出)京都教区カリタス理事学習会	9日 A師福岡・東京神学院その他訪問の途へ(出)京都教区カリタス理事学習会
	10日	聖マルチン病院へ急行 老司教病状危篤 聖マルチン泊	10日 聖マルチン病院へ急行 老司教病状危篤 聖マルチン泊
	11日	高松教区責任者らと相談 母見舞 一応帰洛 ビジョン事務局会	11日 高松教区責任者らと相談 母見舞 一応帰洛 ビジョン事務局会
	12日	女子カルメル会代表と面談	12日 女子カルメル会代表と面談
	13日	古屋司教見舞 財務委(補助金分配) H施設代表と面談	13日 古屋司教見舞 財務委(補助金分配) H施設代表と面談
	14日	ワイアートル副総長と面談	14日 ワイアートル副総長と面談
	15日	奈良堅信ミサ	15日 奈良堅信ミサ

諸宗教聖省長官

ジャンジャド大司教

京都教区中心に諸宗教と活発に対話

長官一行は、4月20日より29日まで、京都教区を中心に、精力的な視察旅行をこなした。

24日名古屋から、教区入りした長官一行は、伊勢神宮、三輪明神を訪問。25日天理教の教祖誕生祭に出席し、東大寺、春日大社を訪問。25日京都入りし、翌日、金閣寺、竜安寺、花園禅研究所を訪問。27日、福井の永平寺を訪問。各所で、好意的な歓迎を受け、有効な対話を行った。長官は、この対話や、敬虔に祈る人々の姿に感動を覚えられた様である。

バチカン公會議はすべての宗教にあるすばらしいものを見出し、互いにその宗教性を尊重しながら、宗教者として協力し、社会の平和と幸せと救いのために尽す姿勢を確認している。

日本では御存知の通り、諸宗教担当司教として、田中司教があたり、積極的に活動しておられる。



ブラジルの

カマラ大司教 来洛

カマラ大司教に一日同行して

第一の印象と、全印象はこれにつきる様である。

「こんなやさしいおじいちゃんが、一度平和と社会の不正について論じ、行動しはじめると、どうしてあんな火のかたまりの様な情熱が生じてくるのだろうか」やさしさときびしさ、むしろ、あのにこしてられるあのやさしさがあるからこそ、生まれてくるのではないだろうか。神のあふれるやさしさを身に帯びているからこそ、人々を苦しめる不正、不義



に対して心を閉じる事が出来ないに違いない。

でもこの原動力はどこから生まれてくるのでしょうか。心の灯のインタビュの中で(カトリック新聞5月1日号)司祭叙階以来、52年間、朝2時〜4時、キリストと共に全世界の事を考え、全人類のため祈りを捧げます。信仰をもっているものにとってそれは慰めです」と答えている。

この祈りがあのエネルギーを引き出し、又、そこから、私の目や耳や口が、キリストのものであります様に、またこのつまらない自分が神に役立ち仕えることができる様心しております」と述べさせるものとなっている様に思う。

貧しい人の事を考える様になられたのは、お母さんの教えにもよる。13人の兄弟達が、自発的に申し合わせ、パンにバターをぬらない事、食後のデザートを取らない事にしたとの事。そういえば一日御一緒に、お食事を共にしたが、本当に、粗食だという印象を受けた。

正義と人権、平和について一度、語りはじめると、その力はどこから生まれるのかと思われ程、熱を帯び、人々の心をうった。正義と人権、平和が脅かされるのは、まず貧しい人であり、もしキリスト者が、この貧しい人を、圧迫する側に立つならば、貧しい人に福音を告げに來られたキリストを受け入れない事になる。

しかし、講演を聞きながら深く感じた事は、社会構造悪に対して、福音はどう

改善の道を開いていくかという事である。いやむしろ、社会構造悪と、一キリスト者として、福音の精神に従って、どの様に、対決していくかという事である。

例えば、日本の経済発展は、大企業の海外進出による後進国の犠牲によって成立しているといわれる。では誰が悪いのか。企業進出をはかるため、血のにじむ様な献身的な努力をしている、先端に働く人々が悪いのか。むしろそういう人の努力があるからこそ、日本株式会社は何か生きのびられ、その従業員である、一人一人の我々日本人が生きられるのではないか、という事を考えるべきではないか。

ところで、人は何か批判的意見を出すとは自分は免罪符を受けたかの如く、自分の責任のがれが出来る様に思う人が、評論家的な人の中に多いのではないかという事である。

その機構が、資本主義的なものであれ、社会主義的なものであれ、集団のエゴとそれに属さない人々の利益とのぶつかり合いが常に生じる。だから、資本主義的な社会から、社会・共産主義的な社会に移ったとしても解決するものでもないし、ではそういう機構そのものをつぶしてしまっても混乱を招くばかりである。

カマラ大司教のなげかけられている問いかけは、この全体主義と個人主義のはざま、社会構造的な悪と、個人を含めた全人類の真の幸せをどう調和させるか、というジレンマに立たされている事、それに対し、キリスト者として、福音の精

神に従って、どの様な光を与えたらよいかという事ではあるまいか。

社会悪を云々する時、殆んど人は、そこに個人の罪悪感を切実に感じない。それをむしろ感じる人々は、過激な運動に走る人だけれど、社会悪を取りのぞこうとして、大きな悲しむべき業を行う事になる。それでは解決しない事を人々は知っている。

とすると何をすべきか。一人でも多くの人が自己を反省し、人権、正義、平和等を、平和な手段を使って、実現する様に努力する外ない。そのため個人の心と努力が一致する様に、凡ゆる方法を使って、より理想的な社会建設に向う様励む外ない。でも問題は一杯のこっている。より理想的な社会とは何なのか。これは永遠の課題である。そうなるともう、そこには人間の力を越えた、神の世界の問題になる。何故、カマラ大司教がそれだけ祈られるのか、何故、宗教者が平和と正義、人権の問題と取り組もうとするのか、こういった問題の解決は、人間の力をはるかに超えた、宗教の世界の問題になりつつある事を、私達は知るべきかも知れない。

今回の来日は「庭野平和賞」受賞のためであり、京都でも、八坂、西本願寺を訪れ、ごく短かい時間ではあったが、大宮司、大谷法主と会見し、平和のために、同じ宗教者として手を取り合って、努力して行きたいとの確認がなされた。

最後にひとこと、大司教のうしろ姿はあのマザーテレサの後姿と似ていてとても印象的であった。

みなさん御存知ですか

司祭の叙階記念日



各々の司祭には叙階記念日があります。それはみな違うわけで、何年何年といってお祝いでいくわけです。

でも司祭職制定の記念日には、聖木曜日、最後の晩さんの席上で、聖体の秘跡の制定と共に行われました。第一回の叙階式があの最後の晩さんの席で行われました。司祭職と聖体は、きりはなせない深い関わりがあります。

さて聖木曜日、聖香油のミサと、田中賢一師の宣教奉仕者、柳本昭師の認定式が行われた後、六階ホールで、集まった



司祭達の会食といくつかの報告がなされた。

一、ビジョン合宿の報告、七つのグループによる今後の取組みについて。(時報84号参照)

二、西院教会のトム・オカナ師の通勤懇想の試みの効果。(時報73号p8)

三、ルーニー師から、ビジョンにのつとて行った三つの主な試みとして1ネオ・カテクメナールを通じての共同体制の試み

2浸水式洗礼などによる典礼刷新の試み

3障害者の授産施設(作業所)作りやボランティア活動 同和問題研究会等の社会との関わりの試みについて 小山教会における信徒の典礼への積極的参加への試み

五、レザール師は、丹後半島の六つの教会と三人の司祭と一修道士で司牧宣教している事、その中で、

祈りの集い、聖書の分かち合いを各教会で行っている事

カリスマ運動 聖書セミナーを通じて又信仰を深める研究会を通じて 宣教心に燃える信徒養成に成果をおさめているとの報告があった。

五、神学生の紹介(田中賢一師は都合で不在)二人の神学生候補者がいる事。

神学生の活動についての報告があった。夏休み、神学生達は、神学校紹介のスライドを作り、教会をまわるとか、あちこちの中高生練成会、又教区召命練

成会に積極的に協力している旨の報告があった。

尚、北白川教会のボアペール師から、北白川教会におもしろいビデオがありまして御利用下さいとの報告もあった。

羊の群に働く我等は

奈良・京都南部司祭合同集会

去る5月16日、奈良教会において、奈良地区に働く司祭(マリスト会)と、京都南部に働く司祭(主に邦人司祭)の合同集会が行われた。

10時から、丁度奈良に来ておられた、御受難会国井管区長のミサ典礼についての講話を聞いたのち、その話を基にして国井師の主式のもとに合同ミサが行われ共に昼食をいただき、散会。司教様は、その夜からはじまるメリノール総会出席のため、急いで出かけられた。

ところでこの様な集いがもたれた事を一言説明しておきたい。今迄、各地区、各司祭団は、自分達の定期的な集会をそれぞれ、行ってきた。しかしやはり教区の一致のかなめとしての司祭団の交流がもっと試みられるべきであるとの反省が昨年の司祭の夏期研修会でなされた。そこで、次の様な申し合わせがなされた。

一、各司祭グループの例会をもっと開放し他のグループの司祭方の参加を呼びか

ける。これは例えば、邦人司祭の月例会に京都南部で働く神父様の一部の参加がある。

二、種々のグループの合同集会をする。今回、これが、奈良と京都南部地区の司祭団によってやっと実現した。

三、其の他、有志の司祭が、集まって、泊りこみで一日の交流会を持つ。

四、日曜日の説教台の交換をする等で、あった。あと二つの場合は、それぞれ地味に行われている事であろう。

さて、喜ばしいことは、去る4月10日、東京のカテドラルにおいて、丁度来日中のカマラ大司教によって叙階された、新司祭、パウロ・島基幸師の参加があった事である。

島師は、河原町教会出身。上智大学に学ぶうち召命を感じ御受難会に入会し、この度めでたく叙階された。師はしばらく奈良で、司牧経験をつまれることになっている。尚、同会の新管区長国井師も、河原町教会出身で、かつて京都学連で活躍された方である。教会のために、どこかで、働く人々が召される様に、祈りたいものである。



南山城地区合同運動会



南山城地区合同運動会は、すでに恒例行事となり、地区のプロテスタントの教会を含めた教会一致の集いとして、喜ばれている。

4月29日、山科、伏見、九条、桃山、宇治、青谷、精華、八幡、田辺、世光、(日本基督教団)の参加に加え、醍醐にある障害者のための授産施設フレンドリーハウスの参加もあり、終り頃、おかしくなった雲行きのため大急ぎで進められたものの無事、成功裏に終わったと思う。

まず伏見教会におけるミサからはじまり、教会一杯で入り切れぬ程の参加者であった。

今回の特質は次の様な事である。
一、今年から、青谷が正式に参加し、青谷精華の連合軍よく健闘し、二位に入った事、今年四連勝をかざった桃山としては、自分達の連勝を脅かすのは、青

谷ではないかと話し合った事。

二、世光教会も若い人々がよくがんばり、いつか世光が優勝をさらっていくだろうとの予測を大方の人がした事。

三、何よりも新しい事は、フレンドリーハウスの人々が参加して下さり、障害者を交えた種目も工夫され、とても喜ばれ、来年も是非と望まれた事。今まで障害者同志の運動会はあったが健常者と一緒の運動会は一度もなかったそうで、それだけに楽しかった様である。小さな試みであるかもしれないが、教会の一致、社会に開かれていく一端となれば幸いである。

尚、今回の担当教会は、八幡、田辺教会であった。田中司教様は、南信協の奥本会長と共に、競技のはじめから、ずっと私達を見守って下さった。

良く走る人は速く走る人ではない



いのちの電話



「死にたい」

私37才独身です。最近生きる望みもなくなつて……。教師なんです、先日クラス担任を押しつけられて、断り切れなくなつて引き受けてしまったのです。自分は断り切れない弱い人間なんです。家庭は姉4人に男1人で育ちました。だから物の言い方も女々しくて、学校でも生徒に馬鹿にされたりするのです。今は苦しい生活を押しつけられています。親への仕送り、ローンの支払い等で大変です。生きているのが苦痛です。体操が不得意で、趣味もかけ事はダメで、同僚とも中々気が合いくてね……。お人好しで臆病で内向性なのです。本当に、もう死にたい……。男は中々泣けるものではないですね。

『先生、あなたは何と素晴らしい宝物を持っているではありませんか！やさしい心、真面目な性格、今の世間で失われつつあるそれを、どうして自ら、悪とさだめようとするのです。自分は強く何の苦勞もなく満足した命を生きていると思っている人がこの世の中に

いったい何人いるでしょう。皆、夫々の十字架を背負って生きているのです。君がいやな担任を与えられたのも、君の荷が軽いから神様がもう少しふやしてくれたのです。お人好しで内向性なら、その繊細な神経を子供達に向け一人一人細かい注意をして上げられるではありませんか？

37才と云えば戦後教育を受けた人であらうか。戦争の悲惨を知らない人達が大半を占めようとしている現代、知っているから良いというのではないが、望めば何でも手に入る不幸な時代に育った人達に、いくじがない、我慢が足りない協調性がないと誰がせめることが出来るだろう。信仰の場でも私達は常に注意しなければならぬ。私達は一人で神を崇め、賛美しているのではない。教会共同体を構成し一人一人が重要なメンバーの筈である。相互のかわり交わりの中で、各々生かされている恵みを知るなら、自ずと周りの人々にも目を注ぐようになり己自身の素晴らしさ又相手の人格の偉大さにも気が付き互いの愛、信仰を高める素因となるのではないだろうか。全ての先入観偏見を取りのぞきキリストの愛と寛大さで人に接する時落胆と絶望の深淵はくすれ愛と希望の水となって溢れ生ける神の霊が私達に宿るのではなかろうか。

(富雄教会 吉田淳子)

1982年度 京都司教区現勢調査報告 (1982.1.1~12.31)

概況

面積	18,090,00km ²
(京都府・滋賀県・奈良県・三重県)	
人口	6,649,777人
信者総数	20,819人
信者実数	17,608人
求道者数	240人
小教区数	43
巡回教会数	18

人員構成

	邦人	外人
司教	2	
司祭	25	59
修道士	3	10
神学生	4	
教区	4	
修道会	1	
修道女	25(7)	41
聖母カテキスタ会	21	

修道女

() 内は志願者

	邦人	外人
ノートルダム教育修道女会	65	11
聖母訪問会	40	
ヌヴェール愛徳および キリスト教的教育修道会	31(1)	1
幼きイエズス修道会	21	1
ウイタタ聖ヨゼフ修道女会	21(2)	5
カルメル会	14(1)	1
カロンデレットの聖ヨゼフ修道会	8	5
聖ドミニコ女子修道会	11(3)	
聖心のウルスラ修道会	7	2
聖ドミニコの宣教修道女会	6	
メリノール女子修道会	4	10
コングレガシオン・ノートルダム	3	
汚れなきマリア修道会	4	
カノッサ修道女会	4	1
善きサマリア人修道会	4	3
聖ウルスラ修道会	2	1
イエズスの小さい姉妹の友愛会	3	
愛徳カルメル修道女会	3	
汚れなき聖母の騎士 聖フランシスコ修道女会	6	
聖母カテキスタ会	21	
合計	279(7)	41

司祭・修道士

	司祭	修道士
	邦人	外人
教区	17	
メリノール宣教会	23	2
オブスディ	1	
マリスト会	14	
聖ヴィアートル会	7	5
レデンプートル会	5	3
男子エスコラピオス修道会	5	1
男子跣足カルメル修道会	3	1
ドミニコ会	1	
フランシスコ会	1	
合計	25	59

社会福祉施設

伝道士(婦)

	男	女
信徒	5	11
修道者	1	17

	数	男(男)	女(女)
病院	2	※ベッド数300	
養護施設	1	3	50
保育園	8	472	363
老人ホーム	4	60	223
心身障害者施設	4	163	178
寮	6	23	70

教育施設

() 内は信徒数

	数	男	女
大学	1		1,253(21)
短期大学	1		791(37)
高等学校	9	1,742(22)	2,938(93)
中学校	7	749(16)	1,345(57)
小学校	3	836(38)	1,112(48)
幼稚園	26	2,275(62)	2,475(75)

京都教区教勢調査表を
みて。

昨年度、教区司祭2名、プラザー1名
帰天されたが、シスターは12名多くなっ
ている。召命の実が結ばれていることを
表している。

信徒数は、教区全体として、総数で2.5
%、実数で14%増えているが、これは実
際に信仰を生き信仰共同体に現実的な生
きたつながりを持つ信徒が多くなったこ
とを示していると思われる。残念な事に
教区全体として、日曜日の感謝の祭儀に
参加する数が減少していることである。

しかし、復活祭のミサに参加する人が多
くなっていることは、日曜日のミサに参
加できない代りに、復活祭にはどうして
もミサに与るといふことだろうか。

洗礼も教区全体として昨年度より増え
ているが(4%)、特に成人洗礼を見れば、
京都・市及び南部、滋賀、奈良で減少し
ているが、京都北部、三重では増加して
いる。過疎化していく農漁村、近隣の近
代化された大都会への指向を持つ人々へ
の宣教の努力は如何に大きいことであろ
う。

教会での結婚式は昨年度比9.4%減つて
いる。適令期の人の減少が、教会で挙式
すべきことを知らないでいるのか。教会
学校生徒数の増加(奈良県は47%)は非
常に喜ばしい。未洗者増加も23%である。

■ 小 教 区 概 況

地区名	教会名	信 徒 数			ミサ参加		求道者	洗 礼			結婚	転入	転出	教会学校		死亡
		総 数	実 数	(1981年)	日曜日	復活祭		成人	幼児	臨洗				信	未	
京 都 市 内	河 原 町	1,711	1,675	1,642	750	1,200	30	25	9	1	33	34	32	80	84	8
	西 院	1,158	790	795	200	800	5	12	8	5	6	14	15	37	4	2
	衣 笠	834	611	626	150	213	18	15	1	2	8	13	27	5	37	5
	高 野	409	317	347	216	305	44	18	2	1	11	18	35	28	0	9
	桃 山	649	636	615	140	200	11	8	7	2	5	17	13	30	15	3
	九 条	548	395	392	80	130	2	3	5	0	4	8	13	14	31	0
	桂	650	587	554	180	250	15	5	9	0	3	32	19	60	15	0
	伏 見	364	358	357	120	250	6	8	5	0	0	11	16	33	14	1
	山 科	499	419	400	150	300	12	1	7	0	3	21	8	25	3	2
	西 陣	369	321	319	90	150	2	2	5	1	4	4	9	22	7	0
	小 山	257	249	258	60	100	0	0	2	0	2	9	13	12	10	0
	北 白 川	240	165	165	60	100	0	7	7	1	0	5	3	12	15	1
	小計	7,688	6,523	6,565	2,196	3,498	145	104	67	13	79	186	203	358	235	31
京 都 府 南 部	田 辺	750	742	713	260	480	15	12	11	1	4	42	25	70	120	1
	宇 治	587	562	546	200	440	12	10	8	4	4	12	9	38	62	5
	國 部	229	229	280	30	80	8	4	0	1	3	4	1	0	0	5
	青 谷	260	226	214	85	150	0	5	4	0	0	3	0	52	0	0
	長 岡	298	174	171	90	150	2	3	4	0	0	1	1	5	20	0
	亀 岡	148	138	126	90	120	6	0	0	1	0	13	0	30	15	0
	小計	2,262	2,071	2,000	755	1,420	43	34	27	7	11	75	36	195	217	11
京 都 府 北 部	網 野	134	132	132	25	40	2	1	0	1	0	0	1	0	0	0
	報 恩 寺	676	328	321	35	60	3	11	1	0	1	0	0	22	0	4
	宮 津	376	337	348	170	230	12	3	1	2	4	7	12	25	9	2
	西 舞 鶴	398	358	357	130	200	5	11	3	1	4	1	6	40	2	8
	加 悦	278	278	249	70	125	7	25	4	1	2	2	2	8	3	4
	岩 滝	191	191	192	80	90	6	5	0	1	0	1	2	29	3	5
	綾 部	147	147	108	40	105	3	4	1	0	0	5	1	14	21	0
	東 舞 鶴	176	137	130	35	100	3	3	0	0	0	7	0	7	5	0
	福 知 山	94	98	92	20	65	4	4	1	1	0	3	5	9	45	2
	大 宮	166	157	168	50	50	8	1	0	0	0	0	8	0	0	0
	峰 山	145	106	73	30	40	3	3	0	1	0	3	3	12	10	1
	小計	2,771	2,259	2,170	685	1,135	56	71	11	8	11	29	40	166	98	26
		12,716	10,853	10,735	3,636	6,053	244	209	105	28	101	290	279	719	550	68
滋 賀 県	草 津	609	605	586	265	450	8	6	12	15	4	35	28	83	8	6
	大 津	490	274	274	100	350	10	2	6	0	1	20	26	42	7	2
	彦 根	284	274	285	65	150	3	1	3	0	1	11	15	10	9	1
	長 浜	100	100	106	20	32	0	1	1	0	1	0	6	7	22	0
	唐 崎	143	113	80	60	89	4	1	5	1	0	17	2	0	82	0
	小計	1,626	1,366	1,331	510	1,071	25	11	27	16	7	83	77	142	128	9

	教会名	信 徒 数			ミサ参加		求道者	洗 礼			結婚	転入	転出	教会学校		死亡
		総 数	実 数	(1981年)	日曜日	復活祭		成人	幼児	臨洗				信	未	
奈良県	奈良	811	753	761	300	450	44	6	3	2	9	8	24	65	178	3
	高田	509	498	487	186	370	28	8	3	1	2	16	8	225	39	1
	郡山	877	374	377	150	180	10	0	6	0	0	7	18	32	80	0
	八木	288	285	285	80	150	4	0	0	0	2	7	4	7	132	3
	登美が丘	435	432	399	230	350	10	6	9	1	2	29	3	58	287	1
	富雄	281	281	269	100	150	7	7	1	0	2	23	14	7	27	3
	御所	133	117	118	80	90	7	2	1	1	3	1	1	10	146	5
	小計	2,834	2,740	2,696	1,126	1,740	110	29	23	5	20	91	72	404	839	16
三重県	四日市	785	450	457	227	300	13	4	3	0	5	12	28	61	10	1
	松阪	515	454	162	125	150	9	15	4	9	3	4	7	16	4	16
	伊勢	520	378	366	90	430	25	13	3	0	4	4	3	19	24	5
	津	451	451	324	168	251	13	9	3	4	3	135	9	11	20	7
	桑名	213	192	155	60	120	1	0	1	0	1	6	12	18	16	1
	鈴鹿	244	243	239	60	100	16	5	3	0	3	11	11	12	34	3
	久居	159	159	157	55	90	0	1	0	0	0	5	3	1	11	1
	上野	148	143	139	70	90	5	1	4	0	1	1	1	17	44	1
	亀山	75	63	49	25	40	5	0	1	0	0	12	0	8	0	1
	尾鷲	42	42	42	28	30	3	0	0	0	1	2	0	0	0	0
	名張	74	74	66	40	60	5	2	1	0	0	7	2	11	18	0
	小計	3,221	2,156	2,156	948	1,661	95	50	28	13	21	199	76	174	181	36
総 計		20,397	17,608	16,918	6,220	10,525	474	299	183	62	149	663	504	1,439	1,698	129



(堅信：総計 355)

1983年3月15日

京都教区事務所

製菓材料・舶来食品
和洋酒・修道院製クッキー
ミサ用ブドー酒

タキノ

〒604 京都市中京区錦小路通鳥丸東入
電話 (221) 0976-7

あなたの良き隣人として

カトリック御葬儀・貨物一式(仏式可)

聖ヨゼフ葬典社

パウロ 杉下安雄
(西院教会所属)

京都市右京区西院寿町23
電話 (075) 312-7829
(075) 771-7577

「フィリピンで作られた
可愛い手拭タオル」
マニラで働くシスター小野島から「ス
ラムで沢山の人が仕事もなく餓えてい
ます。生計をたてるために手芸をしたタ
オルを買って下さい」とのこと、
美しい模様入り、釘にかける様になっ
ています。 一枚 三〇〇円
御入用の方は教理センター(075-761-
9095)まで、お申出下さい。

お知らせ

◎第三回平和学習会

日時 七月二日(土) 6～8 PM
 所 京都カトリック会館5F会議室
 平和ってなんだろ。戦争のない世界の
 実現は夢にすぎないのか。日々確実
 に世界を脅やかし続けている核の現実
 に私たちは無知にすぎるとはならないか
 平和について、いっしょに学びたい方
 はふるってご参加下さい。
 主催 ビジョン連絡協議会平和学習グ
 ループ

◎マリッジエンカウンター

6月24日(土) 京都北白川
 8月15日(日) 青年 奈良
 9月9日(日) 夫婦 奈良
 10月8日(日) 夫婦 舞鶴
 参加費約一万円

参加希望者は奈良教会(〇七四二二
 六一〇九四)へお問い合わせ下さい。

◎「社会と共に歩む教会」勉強会

7月10日(日) 「イエズスの政治社会思想」
 講師 C・ハンコック師
 9月11日(日) 「労働運動の意義」
 講師 B・ヴェクハウス師
 10月9日(日) 「日本社会の分析と福音」
 講師 R・アビト師
 11月13日(日) 「正義の戦争がありうるのか」
 講師 安藤 勇氏

昭和五十九年度

1月15日(日) 「すべての貧しい人に
 食べ物が与えられるべきか」
 講師 C・ハンコック師

2月12日(日) 「福音的霊性と
 社会へのかかわりかた」
 講師 R・アビト師

3月11日(日) 「大企業の成績」
 講師 B・ヴェクハウス師

場所 京都カトリック会館 6階ホール
 時間 PM1時～4時

◎信徒使徒職養成コース

◇第28回 みことばと典礼コース
 日時 8月5日(金)～7日(日)

場所 北海道苫小牧メリノールセンター

◇第29回 基礎コース
 日時 8月8日(日)～11日(水)

場所 北海道旭川カトリックセンター

◇第30回 基礎コース
 日時 8月12日(金)～15日(月)

場所 北海道北見カトリック
 学修センター

◇第31回 基礎コース
 日時 9月15日(水)～18日(月)

場所 奈良・富雄教会

◇第32回 基礎コース(特別聖体奉仕者)
 日時 9月23日(金)～25日(日)

場所 京都・洛星高校宗教研究所

◇第33回 福音と社会
 日時 10月8日(日)～16日(金)

場所 名古屋 教区センター

◇第34回 基礎コース
 日時 11月2日(水)～5日(土)

場所 大阪カトリック神学院

昭和五十九年度
 ◇第35回 基礎コース
 日時 1月13日(金)～16日(月)

場所 北海道苫小牧メリノールセンター

◎視聴覚ワークショップ

音声・スライド作りのための
 ワークショップ
 日時 8月26日(金)～29日(月)

場所 京都カトリック教理センター
 二条オフィス

Tel. (〇七五)七五一〇〇七 (〇七五)六一九五

◎教会学校教師会(奈良)

講師 岩崎淳一師(東京教区司祭)
 日時 8月19日(金)～21日(日)

AM10時～PM3時
 場所 奈良教会

奈良教会バザー

日・時 7月24日 AM11:00～PM5:00
 目的 オペラ「魔笛」(9月上演)
 の費用補助のため
 バザー当日の催しのひとつとして
 「バッハのカンタータ」本格的原典版を上演
 (奈良音楽研究会)
 時間 PM1:00～2:00 2回上演
 PM4:00～5:00
 入場料1,000円

◎南部信徒協議会婦人部報告

世界婦人祈禱日集会

日時 3月4日(金) PM1時半より
 場所 聖公会聖マリア聖堂

テーマ 「カリブ海からのまねき
 キリストにある新しい人」

年に一回他宗教会の方々と交流の持て
 る有意義な日である。

黙想会

日時 3月28日 PM1時半～3時

場所 聖ドミニコ女子修道院

黙想指導は 田中健一司教

ゆるしの秘跡のために 村上真理雄師

参加者 約80名

司教様御自身の子供達への宗教教育の
 体験談や、特別聖年「贖いの年」に對して
 我々信仰を持てる者として贖いにどう答
 え、喜び、信頼をもって取り組むべきか
 等についての御講話であった。



第17回召命錬成会に参加して

三重県セント・ヨゼフ女子学園

主催 京都教区召命促進委員会

三月五・六日、三重県津市にあるセント・ヨゼフ女子学園(カロンデレットの聖ヨゼフ会)において、京都教区召命促進委員会が主催する第十七回召命錬成会が行われた。

召命促進委員会は今までにも、京都市以外において、京都北部、奈良で各一回ずつ黙想会を行ったが、三重県では初めて。

松本秀友師のほか、四名のシスター、二名の神学生がスタッフとして赴き、参加者二十二名計二十九名の大神帯となり、若さと、キリストに従って生きたいと望む情熱で、すばらしいもり上りのあるものとなった。五日(土曜日)は夕方五時半より受付開始。学園のシスター方が準備してくださったボリュウムたっぷりの夕食をいただきながら、なごやかに語り合っ

て幕を開けた。夜は、インプットとい

って、まずは松本神父様の体験の分ち合

いから始まり、五・六人ずつのグループごとでの分ち合い、そしてスライドによる祈り。翌六日は、午前・午後の二度にわたりシスター・神学生によるインプット、そしてグループごとの分ち合いが続き、みんなひとつという感激のうちに、ミサの時が来た。一人ひとり砂のいっば

い入った小さなびんを持って祭壇に行き、そこで、自分のすべてを主キリストに奉

献することを表現して、砂を器にあけて

びんを空にした。

小雪が舞う窓の外、わたしたちはスタ

ップも参加者も、いつまでもいつまでも

暮れるのを惜しんで、そこで祈り、また

語り合っていた気持ちだった。

召命促進委員会スタッフ(文責 Sr K)

最初、「召命錬成会」という重々しい名前を聞いて少ししるんだ?のですが、シスターの「司祭や修道女だけが召命じゃないし、黙想会と違って分かち合いが中心ですよ」という熱心な勧めの言葉に、それならかなり期待できそうだというこ

とで参加したわけです。まず簡単な内容紹介をしておきます。

プログラムは大きく二つに分けることができます。つまり「インプット」「分かち合い」「個人面談」の部分と、「自由な分かち合い」「食事」「自由時間」の部分です。まず「インプット」これは神父様、シスター、神学生の方々による個性的な召命の講話といった感じのものです。そして次の「分かち合い」で参加者がその内容をもとにして話し合うのですが、



みんな「インプット」の内容なんて何のその、普段思っていることや疑問などをぶちまけます。そして「個人面談」では神父様、シスター方、神学生の中から一人を選んで一対一で面談するのですが、多くの場合「分かち合い」では答えの出なかったことや、人前で話にくいことをぶつけるといった形になりました。

それからもう一つの大きな楽しみだった「自由な分かち合い」...なのですが、ここでは種々の教会から集まった人達から本当に色々な話を聞くことができて、何か大へん力づけられました。いやほんとに!

内容はざっとこんな様ですが、感想としては、極ありふれていますが、ついつい目先のことばかりを追いがちな日々の生活の中で、おろそかになっている「じっくり考える」ということと、その助け

となる刺激を得ることができました。みなさん!「召命はポイント(点)ではなく、プロセス(過程)なんです」ヨ!

(文責 坂口 巧)

私は、ある神学生の方に紹介されて、この召命錬成会に参加しました。私自身いろんな悩みをかかえていたもので、何か答えを見つけれられるものならば見つけたいと思っていました。そして本当に多くのお恵みを頂きました。今までは、人に対して心を開くことが出来ませんでした。

でも一目目の「分かち合い」で、神父様、シスター、そして私を含めた4人の人達の集いで、一人の男の人が自分の体験、神の恵みについて私達に話してくださいました。その人は、とても自分を飾らずに、ありのままの自分をさらけだしてくださいました。恥ずかしいことまで全部です。それでその人の話に本当に感動しました。

自分の心の中の恥ずかしいことを言うのは勇気がいることですが、私もその人から勇気を得て、ありのままの自分を言うことが出来ました。

今まで心の中のことを人に話すのは、とても苦手で、又人に良く思われたいという自愛心から心を閉ざしていた私でしたが、その時本当に自分の心を思う通りに、口に出すことが出来ました。あんなに素直な気持ちになることができたのは、自分でも不思議でした。

又個人面談でシスターとお話したの

ですが、「分ち合い」で言えなかった悩みや自分の弱さを告白する事まで出来ました。あんなに人に対して自分の心の状態を言うことが苦手でしたのに、それと思うと「神様って本当に私を引き寄せてくださったんだな」と思いました。

自分の恥ずかしいことを言うのは、勇気がいると思いますが、でもそれが一番大切な事のような気がします。シスターに悩みを打ちあけている時、とても自分が惨めでいやしい者のように思えてつらくなりました。でもその個人面談の終りにシスターが、私のためにと、祈って下さり、二人で心を合わせて祈っているうちに、かかえていた重荷をおろしたように心が軽くなるのを感じました。

この召命錬成会で頂いた恵みは、私にとって、とても大きく、すばらしいものでした。私の心を開きかけを与えてくださったすべての人に本当に感謝します。また、一人でも多くの人がこの召命錬成会に参加して、神の恵みを受けられることができるようお祈りしたいと思います。

(文責 竹村雅子)

教区召命促進委員会

スタッフ住所録

- 村上真理雄神父
京都カトリック司教館内
TEL (075-211-6766)
- 松本秀友神父
東京カトリック神学院

○エミール・デュマス神父
衣笠教会内

TEL (075-461-6802)

○シスター・リディア 菊池

ノートルダム教育修道女会祈りの家
TEL (0775-79-2804)

○シスター・マリア・アデラ 南大路

聖ドミニコ女子修道院
TEL (075-231-2017)

○シスター・メリ・マグダレン 林

ウィチタの聖ヨゼフ本部修道院
TEL (075-482-0754)

○シスター・グレイス 斎藤

カロンデレットの聖ヨゼフ修道会
TEL (075-731-0669)

○シスター・ポーロ 片山

ヌヴェール愛徳会小倉修道院
TEL (0774-231-2822)

毎月一回カトリック会館5階に集まり教区における召命について共に祈り、考え、計画しています。御意見、御希望などお寄せ下さい。

京都教区教会学校教師研修会

日時 8月5日(金)〜7日(日)

AM 9時30分〜PM 4時30分

場所 京都カトリック会館 6階ホール

費用 一日二二〇〇円(昼食付)

内容 聖書のお話、ゲーム指導、教会学校レポート、子どものミサ等

講師 松本(秀)師、滝野師、和田師、デュマス師

釣キチ歓迎

尾鷲「出合いの家」開設

「疲労回復・かたこり・心痛・いらいら・働き中毒に、心療出合いの家」はいかがですか?

紀洲尾鷲民謡の古里おわせ節に唄われる中村山々麓にこのほど小建物ながら、交りの場「出合いの家」を開設しました。

親子兄弟隣人等々、現代社会はばらばら時代と云われます。父さんは働き中毒、母さんはパート働きに、子女は点数競争の塾通いに追われ、進学はしたものの感謝も思いやりも知らない自己中心人間が増加して、このままではいつ世の中はどうなるだろうかと社会・教育評論家の歎きを聞きます。

このような世のありさまを背景にして「出合いの家」は開設された——などと大げさにかまえたわけではありませんが「出合いの家」がとりもつ「縁」で人と人が出合い、自分自身と出合い、聖書(キリスト)と出合うことができるならと開設されたものです。

地元市民に開放しておりますが、教区のご家族の紀洲路の旅のお宿にもご利用できます。

山あり海あり、太平洋の眺望最高。立釣舟(取次)備付海釣具あり、あなたの職場の仲間教会を知らない釣キチ歓迎。問い合わせ 尾鷲〇五九七二一②〇〇八〇番 (係 川口)

宣教Tシャツ

あなたがたは主キリストを着なさい。

(ローマ 13.14)

WANTED
Reward: Eternal Life



Y.C.S.

着よう、着よう、主イエス、キリストを宣伝するために。

- 白地に黒の印入り。
- 価格 1枚: 1,200円
- サイズ・フリー

お買い求めは

京都カトリック教理センター。
☎ (075) 761-9095・752-0057

高校生会ワークキャンプ ライ療養所へ

前田宏二

このワークキャンプは、京都南部高校生会の夏期合宿としてすでに三回行なっている。今までの夏期合宿では聖書研究や、若者としての、我々の直面している問題について、話し合う場として行なわれてきたが、三年前の春の合宿の後、夏は人のために役立つ事を行なおうと言う意見や、滝野神父様の提案もあり、ライ療養所である大島青松園でワークキャンプを行なうことになった。しかし、このワークキャンプには反対があった。感染しないかと分かってはいても、やはり不安があり、又、一部には親の反対もあった。したが、何事も初めてみなければ分からないものと、みんなの意見もまとまり、ワークキャンプへの第一歩を踏み出した。

そこでの食事は給食だったが、決して美味しいと言えるものではなく、味は味覚器官が悪い方もおられるために、ほとんどついていない。しかし、園の方達はその中でも満足し、毎日食べておられる。我々の生活がいかに恵まれたものか教えていただき、スライドについても詳しく教えていただき、そこに映し出される患者さんの姿にはショックであった。普段は気にしていない健康だが、この健康を得たところでワークであるが、我々の仕事は山の中の道の整備で、鎌で草を刈ったり、スコップで道をきれいにしていくのだが、この仕事は園のカトリック信者の方も一緒に下さった。この方は指が無かったのだが、手に鎌をくくりつけて我々よりも早く草を刈り取られるのであった。都会で暮らしている我々は鎌の正しい使い方も知らない始末で、まったく頭が下がるばかりであった。差し入れにジュースやスイカを下さったり、色々と気を使っただけだった。

そんな自分の甘さを知らされる日が続いていて、最後の夜、信者さん達と教会で茶話会を開いた。信者さん達はライ療養所というだけで白い目でみられる苦しい生活や、家族と会いたくても会えない苦しさ、病氣は完治しているのに社会復帰できないことなど、そして我々若者が来るのを、まるで孫が来るかのようにうれしいことなど、また園を訪れたことを何よりも喜んでいただき、楽しいひと時を過ごした。

こうして、次の日、別れの時が来た。今度は握手することができたが、拒まれるのである。ライ病というものが、その人に重荷を負わせているのである。ライという事実がそこにあったのである。あらためてその現実を知った。

このキャンプで、我々の生活の甘さ、心の弱さというものを教えられた。ワークをしたに行ったのではなく、勉強しに行ったのである。そんな我々に来ることは、また訪れて楽しい時を持てもらうことしかないと思う。今度訪れた時には、みんなと握手できるように、そして我々は来年も来訪することを決めたのである。

一回目のキャンプのあとの春の合宿では、ボランティアとは何かみんなで真剣に考えて意見を交わした。それまでの聖書研究よりもずっと進んだ考えを持つことができたと思う。

二回目のワークキャンプでは、一回目の経験や成果などから50名近い参加者があった。ただ目的地である大島青松園は水不足のため行けなくなったので、別の所を必死で探した結果、テントで暮らすのであればという条件で、長島愛生園に受け入れてもらうことができた。テント生活ということで、共同生活において、また一つ新しい勉強ができた。まったくキャンプの経験の無い者が多かったため、初めは自炊や、テント張りにとても時間がかかったが、みんなが一つのことをするということの意味は大きかったと思う。ワークは前と変わらず、不慣れで手まどった。仕事をしているそばを、園の方が気軽に声をかけ挨拶をして通られる。挨拶の大切さを知った。このキャンプでも色々な話を聞き、また多くのことを知ることができたのである。その上、夏祭りにも招いて頂き、より一層園の方と交わることができた。しんどいことは確かにある。

しかし、それ以上のものを学ぶことができる。信者さん達との交わりは、キャンプ後も手紙のやりとりで続いている。

去年が三回目のワークキャンプであったが、仕事は毎回同じである。三回ともいつも我々に何かを教えてください。自分というものを環境を変えて見つめ直すことができ、今まで自分の回りのことだけしか物事を見つめられていなかったことを知らされた。

このキャンプはWORK CAMPというよりも、STUDY CAMPというべきかもしれないほど得るものがある。もっと多くの人に、ぜひ一度参加してほしいと思っている。また、このワークキャンプを絶やさず、ずっと続けていきたいと思っている。

尚今年も8月16日、20日、長島愛生園において行います。高校生の参加を歓迎します。又8月11日から一週間、伏見教会青年部のキャンプが同所で行われます。

「コミュニケーション」への提言 信徒と信徒編

います。

「天は人の上に人をつくらず、人の下に人をつくらず」と言ったのは福沢諭吉です。神を御父と呼べるキリスト者は、イエズスを通して、人は皆兄弟という信仰をいただいたのではないのでしょうか。

正に人の上からではなく、人の下からでもなくキリスト者は相手と対等に言葉を交わすことができると思いませんか。

「主は皆さんと共に」「また司祭と共に」「たがい平和の挨拶を交わしましょう」と主を囲む食事、ミサの度に私たちはたがい兄弟であることを確かめあいます。信じあつて主のうちに一致しているところからコミュニケーションが始まるのです。そして、相手との意見の違いはあれ、また、自分の気持ちのおさまらない面があつても、主のうちに一致するようにコミュニケーションが続けられるのではないのでしょうか。

また、コミュニケーションに欠くことのできない要素は聴くことです。誰でも年をとれば、生理的老化現象の一つとして聴力減退が始まり、人に話かけられても反応できず、孤独の殻にこもりがちになります。その結果、話している相手が理解しにくく、また依怙地になつてますます固い殻に閉じこもつてしま

しかし、私たちの教会の中をよく見ると、聴力減退は老化のせいばかりではないようです。主日ミサの後、三三五聖堂のまわりで談笑している人たちの風景をひろってみました。

たつた今さつき。たがい平和の挨拶を交わし。たきようだいたちが、まるでとり残された異邦人のような顔つきで手持ちぶさたにあらに一人、こちらに一人佇んでいます。

若いお母さんたちは五月の空に舞い上った雲雀のように、息つく暇なく子どもたちの近況交換。年輩の信徒は煙草をくゆらせながら、話相手を待つ風

でもなく、また去るでもないといった風情。高令の信徒は、つきあたりそうなる人には適当に会釈をして、早くも教会の門の外に消えて行きます。週に一度の主日ミサの後がこんな光景です。



ブ、壮年信徒と青年、男性信徒と女性信徒、高令信徒と青年といった具合に、もつと風通しのよいコミュニケーションはできないものでしょうか。せめて週に一度、主日ミサに集つた時こそ、年令グループ相互の聴力減退をはねのけて、小教区共同体全体が若返るように信徒一人ひとりが、声かけ運動を始めたならどんなものでしょう。

「声かけ」は、きようだいへの思いをかける。ことに通じると信じます。

教会の中には、青年層の空洞があります。若い人は教会に寄りつかないなどつぶやいてみたところで、何の足しにもなりません。

教会に青少年が来ない、少いのは彼らに非があるのではなく、教会に集る私たちの青少年への理解が足りなかつたからです。でも、彼らへの理解を取り戻すのに決して遅すぎることはないと思います。今すぐに私たち一人ひとり、司祭、壮年、婦人年輩信徒の別なく、積極的に青年に声をかけ、彼らの話を先ず、偏見を持たず、自分の考え方、自分のこのみで彼らを決めつけずによく聴くことだと思ひます。

勿論、彼らの考え、意見、希望、全面的にかなえることはできないかも知れません。しかし、彼らの話すことを一部始終先ずそのまま聴くようにしたらどうでしょう。彼らが口を開かなければ、「君ならどう思う?」「あなただつたらどうする?」と本心からたづねてみるようにしたらどうでしょう。

青年たちは、梓にはまりきらない、柔軟な考え、意見を十分に持つていて、私たち年輩信徒が教えられることがたくさんあります。彼らに聴くことは、年令差のあるグループ相互間の難聴を癒すことになり、同時に、聴く者自身の信仰の動脈硬化を防ぐことにもなります。聖書にも、兄弟の言うことに耳をかさないものが、どうして神の語られることを聴くことができるかとあります。

子どもであれ、青年であれ、障害者であれ、自分が話す時に相手が心をかたむけて聴くのを見れば、彼らもまた心を開き、相手の心の中に自分の場があることを知るのではないのでしょうか。そして、その場にキリストの平和を味わうのではないのでしょうか。人の下の自分でもなく、自分の上へのしかる人でもなく、自分と相手を知り、両者をむすぶのがキリストであることをさすれば、誰でも極く自然に心に湧いてくるものを、ありのままに相手に伝えるのではないのでしょうか。

私たちは、あまりにも長い間、説教台をへだてて、ただキリストの声を聴くことに慣れすぎてしまいました。受けた言葉に質問する、また確認するでもない聴き方は、コミュニケーションの健康診断ではどんな症状なのでしょう。次号コミュニケーション健康診断

☆小教区の頁☆

田辺教会

田辺町の 沿革について

「京都、奈良、大阪の中間、緑豊かな甘南備丘陵と城南平野との境界に位置し、東に木津川が流れる田辺町は遠い昔から開けたところで、郡名の綴喜は古事記、日本書記、万葉集などにうたわれている「筒城（つつき）」が後になって変化したもので、さらに町内にある筒城宮は今から千五百年ほど前に継体天皇が山城国に

はじめて皇居を定められたものである。また町には国宝、重要文化財が数多く散在しているのをはじめ、源平の合戦でくり返された時代に三度も関白職についた近衛基通公や、一休禪師のような名僧が晩年を送られるなど歴史的、文化的遺産を誇る土地である。」（田辺町総務部企画広報課による）……歴史ある町であります。

現在の「田辺町」は昭和二十六年四月一日に五ヶ町村が合併して誕生。当時の人口は一万五千三百九十一人にすぎませんでした。が、四十年代に入り急激な宅地開発により、五十八年一月一日現在人口も四万三千二百四十五人となり、まだ膨張は続いています。又最近では田辺、精華、木津の丘陵地を中心とした京阪奈文

化、学術都市構想により脚光を浴びています。

田辺教会は近鉄「新田辺駅」より徒歩で一〜二分の至便の地にあります。今はにぎやかな駅周辺も千九百五十四年教会設立当時殆どが田畑で、農業中心の静かな田舎町でした。今では立派な付属幼稚園もあり教会活動の一つとして幼児教育にあたっておりますが、今から約一年半後の千九百八十四年十一月には献堂三十周年を迎えます。設立にあたってはメリノール宣教会スラインバック神父様のご努力並びに南山城地区の教会が一体となって、地元田辺町民の強力な支援も受け古屋司教様を始めとする多くの聖職者の方々のご援助を得ました。現在では二つの巡回教会を持っています。一つは精華



信仰の責任

✚ 私たちは、神から素晴らしい賜をもらっています。

即、信仰です。ですから、私たち洗礼の恵みをうけて信者となった者は、イエズス様のおしえを伝える特別の責任があると思います。もし、あの十二使徒達が、その使命を怠っていたら、今日、現代世界にこれ程の教会は存在していないでしょう。

イエズス様は、私たち信者に、あなたは世の光であり、地の塩であるとおつ

しゃいました。今こそ、この「世の光」「地の塩」という言葉の意味をかみしめて、私たちの祈り、行いを通して、くらやみを見出し、て照らし、味気なきになげくところにも味をもたらしなければなりません。信仰の賜をもらった感謝のしるしとして、ひとりが一人を教会まで導くなら、「地の果てまで」とおっしゃったイエズス様の御意志にそってゆくのではないかと思います。恐れと恥かしさを捨てて復活なさったイエズス様のところへ、ご案内しましょう。

ヒューズ神父

教会で幼稚園と老人ホームがあり、もう一つは時報八十一号で紹介された八幡教会です。最近の喜びとしては、千九百七十九年十一月献堂二十五周年を祝ったことです。記念行事として信徒が四百二十五万円を提出し合い聖堂の大修理をしました。千九百八十二年末の現在、信徒総数は七百四十二人（巡回教会も含む）を数えます。できるだけ多くの信者が教会の運営に参画するようにと信徒会役員は毎年交替し、壮年、婦人、青年各部に分れて夫々活躍しています。いまだま信徒会役員経験者は約百名で夫々の部で活躍しています。将来の苗床づくりのため、

信者子供の日曜学校と卒園児対象の木曜学校、又夏季学校、クリスマス子供会をそれぞれ活動を通じ、子供の教育に力を入れています。田辺教会の責任は田辺町を中心とした周辺約二十万人の宣教使命です。差しのべる手は少ないのですが、熱心な主任司祭と心を一つにし、今後、私達田辺の共同体が聖霊に導かれて夫々努力していくつもりです。益々発展していくことを祈りながら……の毎日です。

（文責、山田（信）、松浦、奥村）





「嵐の中のろうそく」

小林哲郎

最近、中高生の家庭内暴力・登校拒否・非行あるいは学校での暴力が問題になっている。もちろん、昔もなかった訳では

ないが、横浜での浮労者殺人事件や町田の教師の事件等を聞くにつけ、ここまで来たかと思われる方も多いであろう。今の社会を見ると、これでもいいのだろうかと思われることが多いが、中高生の問題にしろ親のしつけが悪いとか、子どもの自覚が足りないとか、それだけの問題では片付けられないものになっているのではなからうか。子どもの行動は親たちの行動の模倣であり、親たちの行動も彼ら自身の生きてきた社会の影響から逃れられないものである。

私たちの生活を見ると、物資も豊かなり、科学技術も格段の進歩をとけている。会社では、コピーがありオフィスコ

ンピューターがある。主婦は冷凍庫と電子レンジで毎日の買い物から解放され、車があれば、まとめ買いもできる。子どもは、電卓で複雑な計算も簡単にできるし、見たいテレビはビデオでいつでも見れるし、テレビゲームやゲーム電卓でいつでもストレス解消できる。

これだけの变化に私たちが慣らされてしまつと、人間の悲しさか、どうしても便利なのが当り前という感覚になつてしまふ。楽になりたい、便利にしたい、合理的にしたいという人間の欲望は文明の進歩をもたらす原動力ではあるが、一度手に入れたものが満たされない時とか、他の人が持っているのに自分だけが

持っていないことに耐えられないという現象は、子どもたちだけに見られる問題ではなく、私たち大人の問題でもあるのではないだろうか。

おいしい食事はばかりしている人が、まずい食事をするのは苦しいことである。あつて当り前のものがなくなるからである。その時にどうするかということが、私たち信仰をもつものとしての証しを問われる時である。なぜ自分だけが、人が嫌がることをしなくてはいけないのか、同じ信者でもしてない人はいくらでもないではないか。私たちは弱い人間なのでどうしても、そういう考えにとりつかれてしまいがちである。

現代は、おいしい食事が氾濫している時代ということが出来る。お金をせばできないことはないという感覚は人々に浸透している。また、どこまでが社会的に許されるかという社会規範の枠はあいまいになりつつある。そのような状況の中でまずい食事ができるのだろうか。その時のために心の準備をし続けることは、嵐の中でろうそくの炎を灯し続けるぐらい大変なことだろう。私は、する人がないからでなく、その炎の美しさ故に、いつまでもその炎を絶やしたくないと思う。

(河原町教会所属)



もぐらの寝言

こちら、堀って堀って堀りまくるのが商売。なじみのないお陽さまには、時々手づくりの穴からちよつくらご挨拶というアングラ生活。しかし、何ともこのあたりの地の固いのにには恐れるね。教区時報」と名付けた穴を堀りはじめてから、かれこれ六年だよ。ちつ

たあ「おい、どうかい、俺んこのニュースでも持ってくるかい」なんていう仲間の一人二人出て来たってよきそう

なもんじやないかね。"コミュニケーションの年"が聞いてあきれるよ。

堀りはじめのうちは、"もぐらの寝言"でもまあいいさ、と思つたもんだ。でもね、私たちみんなが心を寄せあつて作った目標に向つて、いっしょに歩みましょ

おひる

うって、お互いに宣言しあつた仲になつたんだ。水災いと思わないかい？ おんなじイエズス様を、おんなじ食卓からいただいてるお前と俺だよ。"もぐらの寝言"なんてのんきなこと言つてられるかよ。おい、編集長もぐら！"もぐらの

叫び"って看板に変えてくれないかな。叫びついでにもう少し言わせてもらうよ。一体、全体どうしてキリスト者というのはこうお固いんだい？ しよちゅう

カミシモ着つばなして。大体ねー、福音宣教つてのは、着物の布地で言えば木綿だよ。汗と努力で織りなす人々の生活の中でふさわしいのは、汗を吸収し、洗濯

のきく木綿さ。ありのまま、自然のままがお好きなんだよ、イエズス様は。だからお父さんである神をアツバとお呼びになるんだ。俺たち流にいえば、お父ちゃん。だ。お前なら。お父はん。かい？ 何ていつたつて飾らない、生地のまんまのつきあいは何よりつてことよ。イエズス様だつて、カミシモ着つばなしのつきあいじゃ肩がこつて仕方がないだろ？ イエズス様とまだつきあいのない日本人にとつちや、尚更だよ。魅力のある教会だの何だのつて聞くけど、カミシモをぬぐことからはじめたいね。

え！ お前飲みすぎてるんじゃないかって？ とんでもない！ 俺自身ちよつとカミシモぬいでみたのさ。どれ、もう一堀り堀るか。おい編集長！ 忘れずに看板変えといってくれよな！

(Y)

社会と共に歩む人物記(9)

さりげないキリストへの道標



大八木 明
みち子
(桂教会)

大八木家横の道にたてられたエマウスの十字架

「いらっしやい」と迎えて下さった当のご主人は、いが栗頭にTシャツ、コッパンパンツと寛いだ恰好。話し方も、かざらずたかぶらず、自己紹介では「修理工」とこたえる気さくさ。大八木明氏、京都大学研究室に通う内科医のイメージには、はまりにくい人物。夫人のみち子さんと

の間に恵まれた男の子三人は発育どおり。お座敷の襖、障子は小戦士どもの奮闘を物語る微笑のあとが幾つかうかがえるのも微笑ましい。明氏のお母さんを加えたこの家庭は、気楽さと、やさしさと、信頼感で隅々まで満たされている。

「医師として忙しい立場にありながら、正義と平和委員会のメンバーとして活発に動いておられる動機は？」

「どちらにも適当にいい加減にやっているので……越知師から洗礼を受けたその後青年会で熱心に動いてました。同師が小山教会におられる頃、正平協設立準備を始めたのに、私自身もつと社会に関るべきだと感じてそれに加わりました。バチカン第二公会議の公文書を読むと、私が見る教会のイメージは、押入れに入り鍵をかけ、中で自分が天国に行けるように祈っているといった感じ

で、あまりにも公会議が言っている教会とは開きがあります。だからといって私は、人には人の信仰があつてウソとは思わないが、自分のまだまだホンマモンではありません。正平協活動は滲透しにくく、メン

バーもふえず、容易ではありませんが、私たちが取組んでいる部落問題を、教会の中で少しでも意識してほしいですね。拡大学習会を年に三、四回小教区に招かれ、しています。今年は二つの修道会にも呼ばれていますが、学校がもっと積極的に取組むようになると思いますが。

「お子さんの教育とあなたの活動を関連させて特別に思っておられることは？」

「自分が医者だから子どもも医者にとは考えていません。私はお互いの自由を本当に尊重したいです。何でも子どもがしたいということには反対せず、協力するつもりです。今望んでいることは、子ども達が男らしく、強くやさしい人になる事。

人を助けるのに、自分がどんな不利益を被るろうと、自分のやさしさを捨てない人になってほしいですね。」

「奥様の方から御主人をどう感じますか？」

「自分は正義派ではないと言いますけれど、やはり正義、自由ということに大へん敏感ですね。そして型破りのようにいながら真面目です。私の方はその点にぶくて、主人はいつも私の先生です。実際に主人がよいと思ったことを行動に移してゆくのを見て、自分がとり残されな

いようにつとめ、一頃は主人のしていることを真似たこともあります。私自身はどうやら子どもの面倒から少し手が離れ、三年振りに教会学校のお手伝いを今年から始めたいと思っています。おもちゃライブラリーの方も始めましたが、深い根をもつてボランティア活動を続け、自分と対象者の相対し方がわかり、自分の位置づけが出来ている主人に比べると、私はそうしたことが頭でわかっていても、身体でわかるまでに至っていないことを感じます。」

「この人は子どもに手が届いて、外でボランティア活動ができない間点字を覚えたんですよ」と御主人。夫唱婦随ではなく、「全き自由」でつながりながら、自分の意見が確立している大八木夫妻。アンケートが回つてくると二つ折にし、思い思いの意見を記入するという徹底ぶり。

「聖書の分かちあいを二人でされますかの問いに返ってきたみち子さんの答が振っていた。『うちは聖書をおトイ

レにおいています。一番落着いて味わえますから。主人の好きな箇所はマタイ25・40、私はコリント13愛の賛歌』全く信仰と生活一体(Y



時報が対話 おう書く
手段なら 者も読む者
は「互いにも、投稿者
心を開けあ も編集者も」

◆自分に閉じ込めるのは、いけない。でも、それは閉じ込めてあるのか、閉じ込められているのか。閉じ込めると、まわりが見えなくなります。「井戸の中の蛙、大海を知らず」。

開くのは内側と外側から両方からでなければなりません。自閉児の問題が一番、大変な問題だそうですね。さて、私達はどうなんでしょう。個人も教会も国も(M)

◆高野川沿い竹藪の残る庭のある家に住むお蔭で、柔く、しかも快い歯ごたえのある筍が毎年味わえる。砲弾型のつべんを、おしるしばかりに見せて地中に静かに籠っている筍もまた、人生の味を教えてくれる。今は、掘りおこななかった筍が、「速度」そのものが形になった感じで宙に打上げられている。四季折々、大自然は神が開いて下さる味わいの本。

(Y)

◆今の季節は木々の緑が目には沁みやすいに美しくてきれいであり、次から次へと花が咲き競い合う、この自然の美しさ、素晴らしさに酔いしれています。やがて田や畑には恵みの雨の季節となりますが、これらみなすべては大いなる愛の恵の証。私たちは何を証しているでしょうか。(K)

本紙を福音宣教に役立たせるため、ご近所、お友だちにもお見せ下さい。